

別記様式（第 14 条関係）

附属機関等会議録

令和 7 年 3 月 2 1 日

会 議 の 名 称	令和 6 年度 第 2 回 島田市地域ケア会議
開 催 日 時	令和 7 年 3 月 1 1 日（火）19:00～20:50
開 催 場 所	島田市役所 3 階 大会議室
会 議 の 議 題	（１） 島田市介護保険事業モニタリング （２） 島田市の介護保険事業 （３） 総合事業の現状 （４） その他の事業について （５） 島田市地域ケア会議「在宅医療介護連携部会」について （６） 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について （７） 認知症の支え合い体制について
会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別	公開 ・ 非公開（ 全部 ・ 一部 ）
会議の全部又は一部の非公開の理由	
公開の場合の傍聴人の数	0 人
出席者の氏名等	<委員> 山城厚生会長、片岡英樹副会長、富岡昌子委員、山田ゆかり委員、徳本英史委員、名波昭人委員、大石江利子委員、鈴木幸治委員、安達義人委員、望月義弘委員、杉本静雄委員 <事務局> 包括ケア推進課大久保勉課長、大庭渡課長補佐、川本実子係長、米澤美晴係長、杉野みゆき主査、鈴木大地保健師、長寿介護課杉本健二係長、国保年金課山内名菜子保健師、島田市医師会紅林みな子相談員 <その他> 高齢者あんしんセンター第一 栗田 真理 高齢者あんしんセンター第二 大石 鑑子 高齢者あんしんセンター六合 勝又 諒也 高齢者あんしんセンター初倉 遠藤 久哉 高齢者あんしんセンター金谷 杉山 葉子 高齢者あんしんセンター川根 奥川 泰史

会 議 の 結 果	1 以下（１）から（７）について資料により報告し、主に（７）について意見等を頂いた。 （１） 島田市介護保険事業モニタリング 介護サービスの利用状況について （２） 島田市の介護保険事業 地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析 （３） 総合事業の現状 ① しまトレ推進事業 ② パワーリハビリ教室事業 ③ eスポーツ教室事業 ④ 通所型短期集中予防サービス事業 ⑤ 認知症高齢者等見守り事業 ⑥ 介護予防ケアマネジメント促進事業 ⑦ 地域ケア会議推進事業（自立支援型地域ケア会議） ⑧ 生活支援体制整備事業（外出支援） （４） その他の事業について 実施状況評価シート （５） 島田市地域ケア会議「在宅医療介護連携部会」について （６） 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について （７） 認知症の支え合い体制について 事前連絡票集計表 ・ 認知症の方を市内で見かけないが、デイや施設を利用して、市内で見かけない事が支え合い体制ができていることになるのか。 → 支え合い体制とは、サービスの利用や地域の方の声掛けや情報提供など、地域でのさりげない見守り体制であると認識している。 ・ 認知症カフェが機能しているのか？近所・隣組・町内が認知症を抱えた家族・本人の受け皿となる事ができているのか？介護保険制度の充実しかないのか？ → それぞれの地域の特色にあった認知症カフェが市内６か所で活動しています。おしゃべりをしたり、お話を聞いたり、相談を受けたり、さまざまな取り組みをしています。介護保険制度の充実だけでなく、地域での支え合いが大切と考えます。 ・ 認知症カフェを実施するにあたり、どのくらいの予算が確保されているのか？各地区がそれで足りているのか教えてほしい。 → １個所につき年間 3000 円となっています。例年、不足したという連絡はありません。
------------------	--

・ 2025 年問題に向けて、10 数年取り組んできた「介護予防」「認知症ケア」などによる具体的な『評価』があれば教えてほしい。

→介護予防については、しまトレの個所数が 102 か所まで増えたり、認知症サポーター養成講座受講者が累計 17,578 人となったりするなど、この 10 年間で積み上げてきたものは数多くあります。

具体的な評価については、通いの場に通う高齢者が増え、健康な高齢者が増えたことにより、高齢化率は高くなっていますが、介護認定率が他市町に比べ低く、介護保険料も県下で低い数値に収まっていることがあげられます。

これらの状況は、市だけの取り組みではなく、関係団体の皆様やボランティアの方、市社協、地区社協、自治会、民生委員の方など、市民の皆様のご協力とご支援のおかげです。

今後も、介護予防事業等に取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

・ 認知症の方に GPS があると聞くが、広報で行方不明の方が流れることがあります。

その人が GPS を付けていたとして、この人が変だと思えば、この人がどこから来たか判断ができる方法がありますか。どのような体制になっているのでしょうか。

→GPS を搭載した機器を、導入するときの初期費用を市では補助しています。GPS を使うにあたっては、家族の人が GPS と同機させた携帯などを持っていて、小型の GPS を本人に付けてもらい、同機している携帯で本人の居場所がわかるというものになっています。家族のみが知ることになります。

・ 地域として認知症の方をケアする活動をされているところはあるのでしょうか。

→認知症について知りたい、興味を持っている人たちが集まれる認知症カフェが市内 7 か所（1 か所休止していますが）ありますので、そこに行っていいただくと情報交換などできる。

・ e スポーツ教室事業の報告で男性参加者が少ないということでしたが、男性参加者の割合がわかれば教えてください。

→1 講座定員 12 名となりますが、そのうちの 3 ～ 4 名、2.5 ～ 3 割くらいが男性となっています。地域の通いの場に比べれば男性高齢者の参加者が伸びています。

・ 出前体験会をやってくれた地域の方からそれを居場所として考えていきたいというお話がありました。それに対する補助金などは通常の居場所でよいでしょうか。

→通常の居場所づくり事業の高齢者対象の補助金となります。物品は限度額 10 万円で、過去 5 年間に補助金を受給していな

	い事が条件になりますが、e スポーツの機器類も 10 万円あれば一式買い揃えることができますので有効に活用していただければと思います。 ・認知症カフェを今回初めて知りました。これとデイサービスとは介護保険を利用しているかどうかの違いですか。 →認知症カフェは、誰でも興味があれば行けるところです。 ・安心して徘徊ができる、安心して散歩ができる、そこをどのように寄り添うことができるか、夢の夢かもしれませんが、そんなところを感じている。 ・安心して見守られていく、そんな地域社会ができていければいいと思う。
提出された資料等	1 資料一覧 (1) 島田市介護保険事業モニタリング 介護サービスの利用状況について 資料 1 (2) 島田市の介護保険事業 地域包括ケア「見える化」システムを活用した地域分析 資料 2 (3) 総合事業の現状 資料 3 ①しまトレ推進事業 資料 4 ②パワーリハビリ教室事業 資料 5 ③e スポーツ教室事業 資料 6 ④通所型短期集中予防サービス事業 資料 7 ⑤認知症高齢者等見守り事業 資料 8 ⑥介護予防ケアマネジメント促進事業 資料 9 ⑦地域ケア会議推進事業（自立支援型地域ケア会議） 資料 10 ⑧生活支援体制整備事業（外出支援） 資料 11 (4) その他の事業について 実施状況評価シート 資料 12 (5) 島田市地域ケア会議「在宅医療介護連携部会」について 報告資料 1 (6) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について 報告資料 2 (7) 認知症の支え合い体制について 事前連絡票集計表 資料 13
会議を所管する課の名称	島田市健康福祉部包括ケア推進課
その他必要な事項	